

THE UNIVERSITY OF CHICAGO



1. 本市の概要

1) 位置と地勢

本市は、沖縄本島中部の東海岸に位置し、県都那覇市から約 25km の距離にあります。金武湾と中城湾に面し、東南部に広がる勝連半島の先には、有人、無人の 8 つの島があり、美しい風景と豊かな自然環境に恵まれています。

市域の面積は 87.031k m²（令和 6 年 1 月 1 日時点）と広大です。気象は亜熱帯海洋性気候に属し、月別の平均気温が 17℃から 29℃、年降水量は約 1,900mm で、年間を通じ温暖な暮らしやすい気候となっています。



2) 歴史

本市は、世界遺産の勝連城跡をはじめ貴重な歴史遺産や文化財、各地域で長年培われてきたエイサーや闘牛、獅子舞など数多くの伝統文化が保存され受け継がれています。

各地区の特徴は次のとおりです。

●石川地域

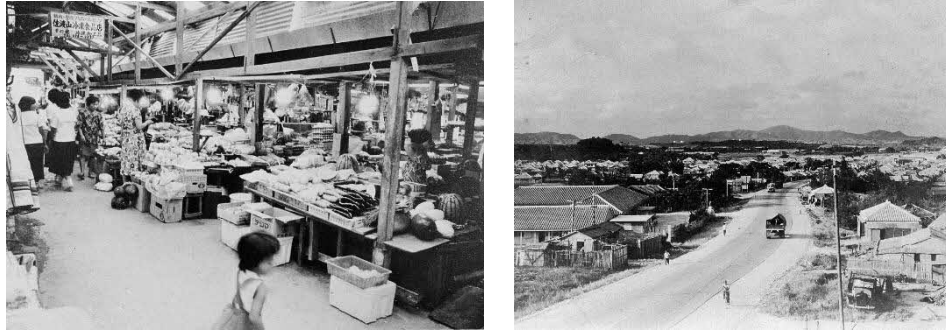
先史遺跡が 10 箇所確認され、その内の伊波貝塚は沖縄の縄文式文化の存在を決定的にした貝塚で、国指定の史跡となっています。太平洋戦争までは美里村政下の農村集落でしたが、1945 年 9 月に石川市となり、戦中戦後、米軍により設置された避難民収容所や琉球政府の前身である沖縄諮詢会、さらには沖縄中央銀行設置など戦中戦後の沖縄政治・経済の中心地として発展してきました。



(左)『沖縄県史ビジュアル版近代④空から見た沖縄Ⅱ 沖縄本島北部・中部地域の空中写真』沖縄県教育委員会
(右)1959 年頃の石川ビーチと市街地(出典:石川市史)

●具志川地域

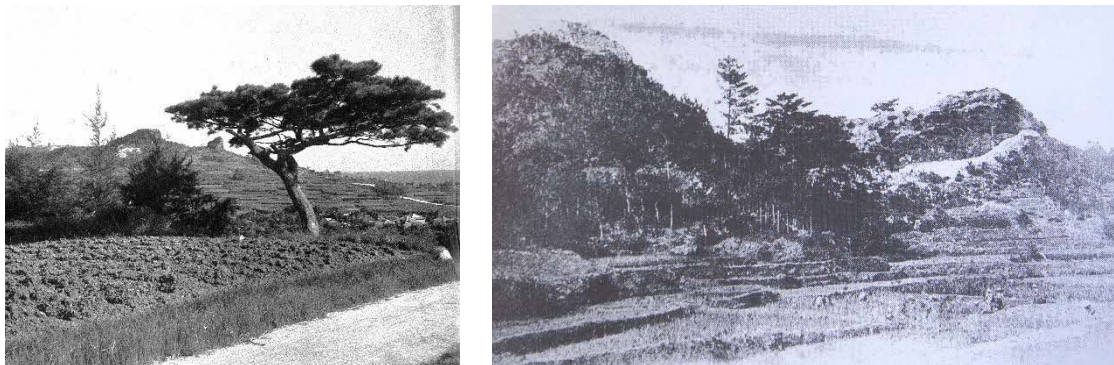
先史遺跡が 20 箇所余確認されており、王府時代から多くの士族が宿取りをしており、宿取りの多い地域として知られています。肥沃な土地に恵まれ 1941 年にはサトウキビの生産量が沖縄一になっています。戦後は、外国語学校、文教学校、農林学校などが創設され、戦後沖縄の高等教育発祥の地となりました。



(左)安慶名市場/(右)安慶名周辺(出典:不明)

●勝連地域

先史遺跡が 20 箇所余確認され、半島側では南側に多く、津堅島では海岸部に点在、浜比嘉島には洞穴内遺跡が多く見られます。勝連按司 10 代目の阿麻和利の時代になると勝連は最盛期を迎え、徳之島や奄美大島、さらに中国や朝鮮との交流も盛んに行なわれていました。そうした歴史の中心である勝連城跡が平成 12 年に世界遺産に登録されました。



(左)勢理客原の一本松と勝連城跡(昭和 38 年)(出典:南風原字誌)
/(右)明治年間に撮影された勝連城跡(出典:勝連町勢要覧)

●与那城地域

先史遺跡が 12 カ所、グスクが 5 カ所確認されています。12 世紀ごろには勝連按司の支配下におかれ、1676 年には勝連間切から分かれて与那城間切が新設され、後に村・町へと発展していきました。



与那城平安座の家並み(昭和 30 年代初め)
(出典:ひやむぎかなもり写真に見る平安座今昔)

2. 景観特性と景観資源



平成 17 年 4 月 1 日に具志川市、石川市、勝連町、与那城町のそれぞれに固有の歴史的背景・地形的特徴を持つ 2 市 2 町が合併して誕生した本市は、都市景観から自然景観に至るまで実に多彩な景観を有しています。

本計画では、本市の景観を「眺望景観」、「自然景観」、「歴史景観」、「くらし景観」の 4 つに類型化し、それぞれの景観の特徴について市民から寄せられた景観資源をもとに整理しました。

眺望景観



世界遺産である
勝連城跡の眺望



高台からの眺望



海・島のある眺望

自然景観



海・海岸・干潟



河川・ダム



緑地・稜線



まちなかの木・花

歴史景観



先史時代



古琉球時代



近世・近代



戦中・戦後

くらし景観



集落



市街地



なりわい
(農・漁・工・商)



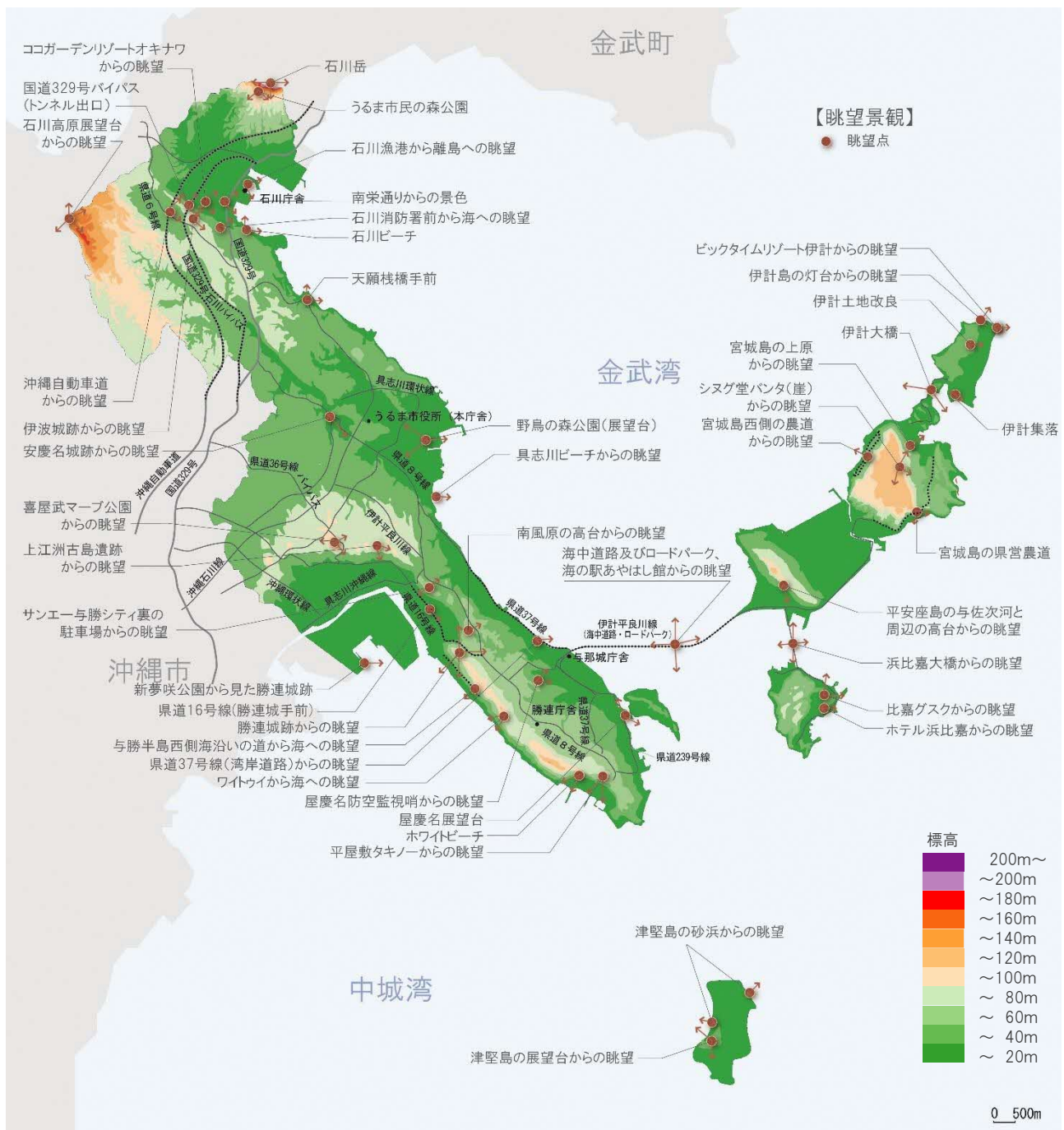
伝統・芸能・まつり

1) 眺望景観

本市は、東に金武湾、南に中城湾に接する海に囲まれたまちです。東南に伸びる半島部の先には、有人・無人を含めて8つの島々があり、このうち5つの島は海中道路や橋によって結ばれています。地形は起伏に富んでおり、斜面地や丘陵地が多いことから、多くの場所から街並みと自然が織りなす多彩な眺望を楽しむことができます。

また、沖縄本島の東海岸に位置することから、水平線のかなたから昇る美しい朝日は、本市を代表する美しい景観となっています。

■景観資源図（眺望景観）



（１）世界遺産である勝連城跡の眺望

平成 12 年 12 月に「琉球王国のグスク及び関連遺産群」として世界遺産に登録された勝連城跡は、世界遺産としての価値はもとより、沖縄の精神文化や歴史的資源の関係性、物語性を体感する上でも大切な資源です。その勝連城跡の城郭からのぞむ 360° の大パノラマは、訪れる人々の心を魅了してやみません。



勝連城跡からの眺望（海中道路方面）（勝連南風原）



勝連城跡からの眺望（屋慶名方面）（勝連南風原）



勝連城跡からの眺望（照間方面）（勝連南風原）



県道 16 号線（勝連城跡手前）（勝連南風原）



勝連城跡からの眺望（南風原集落方面）（勝連南風原）



海中道路から見た勝連城跡（与那城）



勝連城跡からの眺望（沖縄市方面）（勝連南風原）



麓から見上げた勝連城跡（勝連南風原）



新夢咲公園から見た勝連城跡（勝連南風原）

(2) 高台からの眺望

変化に富んだ地形を持つ本市は、眺望点となる高台が数多く存在し、その高台から望む多彩な眺望が重要な景観資源となっています。



石川高原展望台からの眺望(石川山城)



ココガーデンリゾートオキナワからの眺望(石川伊波)



石川岳(石川)



国道 329 号バイパス(トンネル出口)(石川)



伊波城跡からの眺望(石川伊波)



沖縄自動車道からの眺望(石川)



うるま市民の森公園(石川)



安慶名城跡からの眺望(字安慶名)



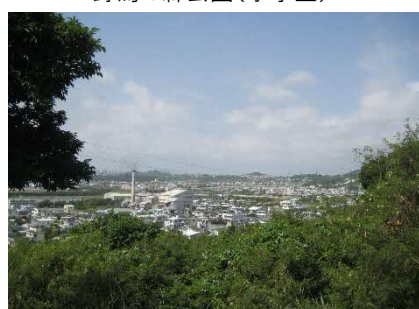
野鳥の森公園(字宇堅)



平敷屋タキノーからの眺望(勝連平敷屋)



喜屋武マープ公園からの眺望(字喜屋武)



サンエー与勝シティ裏の駐車場からの眺望(字大田)



上江洲古島遺跡からの眺望(字上江洲)



南風原の高台からの眺望(勝連南風原)



平安座島の与佐次河と周辺の高台からの眺望(与那城平安座)

(3) 海・島のある眺望

2つの湾と8つの島しょに囲まれた本市は、沖縄本島や島々から眺める海・島のある眺望が重要な景観資源となっています。



海中道路及びロードパーク、海の駅あやはし館からの眺望(与那城)



具志川ビーチからの眺望(字具志川)



南栄通りからの景色(石川)



勝連半島西側海沿いの道から海への眺望(勝連平安名)



石川漁港から離島への眺望(石川)



比嘉グスクからの眺望(勝連比嘉)



石川消防署前から海への眺望(石川)



浜比嘉大橋からの眺望(勝連浜)



津堅島の展望台からの眺望(勝連津堅)



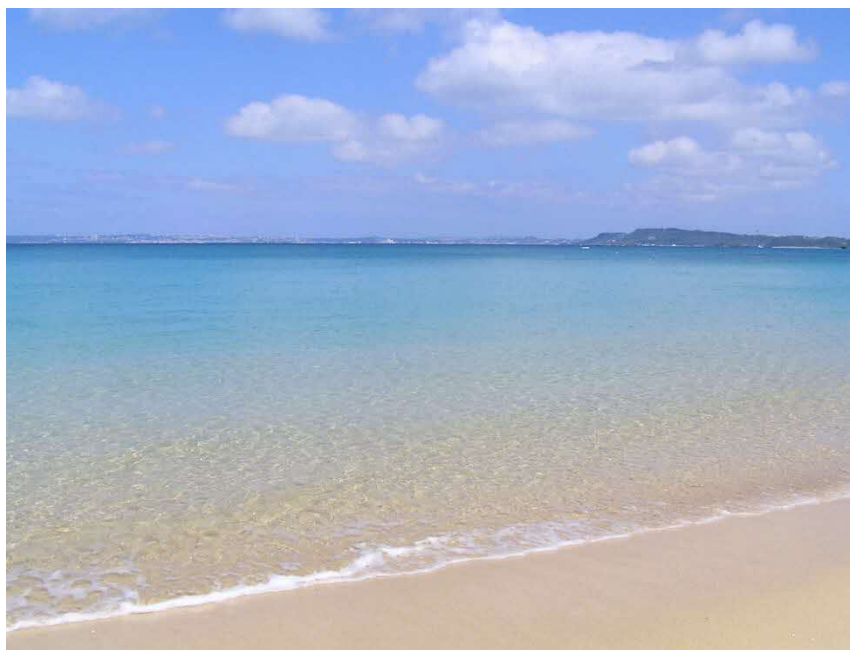
平安座島の与佐次河と周辺の高台からの眺望(与那城平安座)



シヌグ堂バンタ(崖)からの眺望(与那城上原)



屋慶名展望台(与那城屋慶名)



津堅島の砂浜からの眺望(勝連津堅)



宮城島の上原から海への眺望(与那城上原)



与那城防空監視哨からの眺望(与那城)



伊計大橋(与那城伊計)



県道37号線(湾岸道路)からの眺望(与那城照間)



宮城島の県営農道(与那城宮城)



ワイトウイから海への眺望(勝連平安名)



伊計土地改良の眺望(与那城伊計)



ホテル浜比嘉からの眺望(勝連比嘉)



伊計島灯台からの眺望(与那城伊計)



宮城島西側の農道からの眺望(与那城上原)



ビックタイムリゾート伊計からの眺望(与那城伊計)